



YANMAR

A SUSTAINABLE FUTURE

次の時代のビルを、 CO₂ゼロという方向へ。

2014年11月に完成したヤンマーの新本社ビル「YANMAR FLYING-Y BUILDING」。
それは、世界最先端の環境テクノロジーを集めた未来へのコンセプトモデルです。
ガスコージェネレーションシステム、ガスヒートポンプエアコン、バイオディーゼル。
さらには太陽光、太陽熱、地中熱、風力の活用など。
「CO₂ゼロチャレンジ」をきっかけ、あらゆる技術でCO₂排出ゼロをめざしています。

CO₂排出ゼロへ。それは今、世界の流れ。
CO₂を一切ださない燃料電池車が、「究極のエコカー」として注目されているように。
あらゆる分野で、次なる挑戦が進んでいます。
ヤンマーは、エネルギーシステムの領域でその流れを支えるトップランナーです。

世界中のビルがCO₂をださなくなれば、世界は変わる。
私たちは、ここから、次の100年への取り組みを進めていきます。

テクノロジーで、未来に答えを。

1. ガスコージェネレーションシステム

ガスの力で発電。ピーク電力を低減し、熱を冷暖房・給湯に活用。
高効率でCO₂を大幅に削減すると同時に、停電時にも運転可能。

2. ガスヒートポンプエアコン

ガスの力で冷暖房。電気式エアコンと比較してCO₂を30%削減。
消費電力は1/10でピーク電力削減に大きく貢献。

3. バイオディーゼル

植物由来の廃食油を燃料化して発電。植物はCO₂を吸収しているため、
発電時にCO₂がだてもトータルで大気中のCO₂は増えない。



3.29 CO₂ ゼロチャレンジ! セレッソ大阪サポーターズマッチ
[3.29 16:00キックオフ セレッソ大阪 VS 横浜FC @ヤンマースタジアム長居]

ヤンマーは、セレッソ大阪が2012シーズンより行っている活動「CO₂ゼロチャレンジ」を大阪ガスとともにサポートしています。
大阪府内の企業にCO₂削減を支援し、削減することで得たCO₂クレジットにより、セレッソ大阪のホームゲームで排出される
CO₂をオフセット。実質排出量ゼロにします。2014シーズンは、1,435トンオフセットしました。